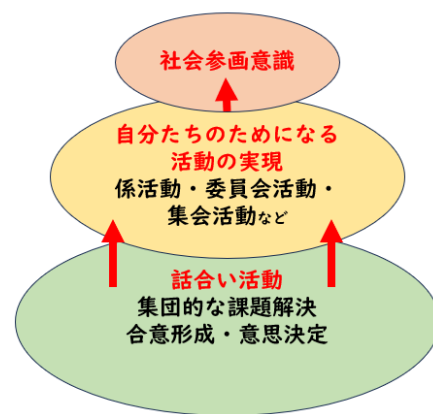
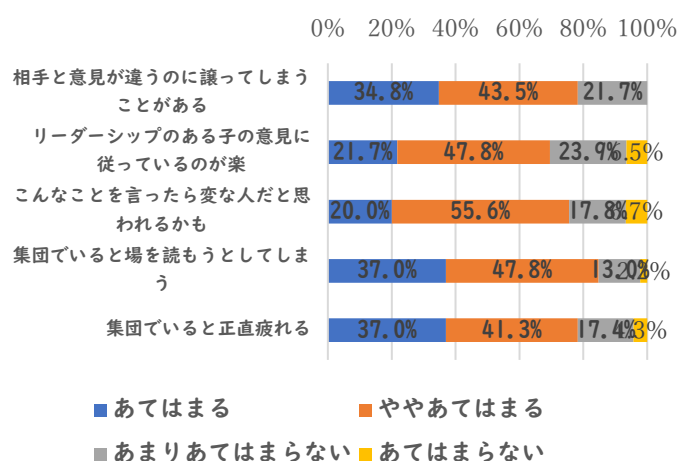


特活は話し合いと体験を通して社会参画の力を育てます

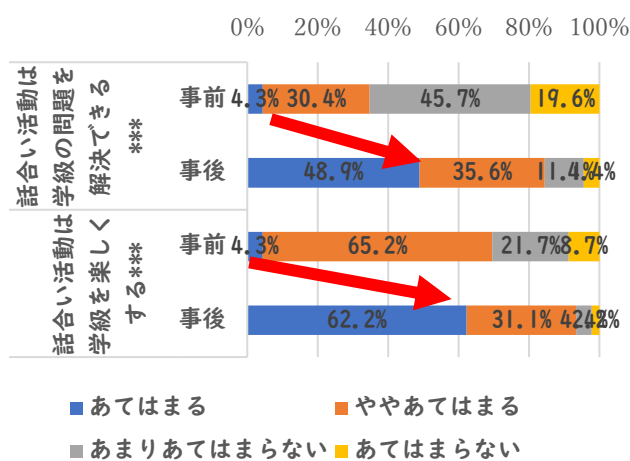
特活通信第 2 号では、特別活動が社会参画の力を育てることを、データを示しながらご説明しました。では、なぜ特別活動は社会参画の力を育てることができるのか？ そのメカニズムとして、①係活動や委員会活動など、学級や学校の一員として人の役に立つ喜びを感じることで、社会に参画することの喜びを知るから、②特別活動を進めるうえで必要不可欠となる話し合い活動を通じて、意見の相違があるからこそ豊かな創造が生まれることを体験的に知ることができ、社会参画への億劫さや恐怖心が薄れること、があげられます。今回は特に②について詳しく紹介します。



グラフ1 人間関係に関する意識



グラフ2 話し合いの効果



グラフ1を見ると、若い日本人女性は、「相手と意見が違うのに“それでいいんじゃない”と譲ってしまうことがある」「リーダーシップのある子の意見に従っているのが楽だと思う」「“こんなことを言ったら変な人だと思われるかな”と人がどう思うかが気になる」「集団でいるとき場を読もうとしてしまう」「集団でいると正直疲れる」に 8 割前後が「そうだ」と答えており人間関係や集団において、息苦しさを抱えていることが分かります。しかし、特別活動についてしっかり学んだあとは、「話し合えば学級内のどのような問題も解決できる」「話し合い活動をすれば学級生活が楽しくなる」と希望を持つことができます。話し合いをして、異なる意見に折り合いをつけ、みんなが納得できる解を創造するなかで「話し合いをすれば解決できるかも」と希望をもつことができ、さらにそこで集団的な意思決定を重ね、自分たちのためになることを実現することにより、「自分の力で社会を変えていけると思う」という自信が生まれ、社会参画意識が育っていくのです。

特別活動を通して、子ども達に明るい未来を届けましょう

（出典）グラフ1・2

山田真紀・清水弘美「特別活動は学生の意識や行動をどう変えるか」2025 年度日本特別活動学会大会にて発表予定
調査概要：2025 年 2 月に「特別活動の指導法」を受講した女子学生 75 名を対象に授業開始前と終了後にパネル調査を実施。